



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月14日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) 059-381-5540
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日~平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	20,382	10.2	899	80.5	896	83.9	581	87.2
30年3月期第3四半期	18,492	8.2	498	33.8	487	33.8	310	29.5

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 559百万円(56.4%) 30年3月期第3四半期 357百万円(32.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	277.05	—
30年3月期第3四半期	148.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	15,132	5,273	33.8
30年3月期	15,514	4,825	30.1

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 5,110百万円 30年3月期 4,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	7.7	993	10.8	970	9.2	652	62.7	310.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	2,100,000株	30年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	64株	30年3月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,099,936株	30年3月期3Q	2,099,936株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、国産車新車販売においては、当連結会計年度期首より受注状況が好調であったため売上高が増加いたしました。輸入車新車販売においては、平成30年12月にボルシェセンター鈴鹿を閉店いたしました。フォルクスワーゲン・アウディにおける改革が進みました。平成29年1月にオープンした亀山市のオートモール（新車・中古車の複合商業施設）が黒字化(前年同四半期比)となりました。また、中古車販売においても、物流システム及び中古車商品等の見直しを更に強化いたしました。これらの結果、売上高は203億82百万円と前年同期と比べ18億90百万円(10.2%)の増収、営業利益は8億99百万円と前年同期と比べ4億円(80.5%)の増益、経常利益は8億96百万円と前年同期と比べ4億9百万円(83.9%)の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億81百万円と前年同期と比べ2億70百万円(87.2%)の増益となりました。

① 売上高及び営業利益

売上高は203億82百万円と前年同期と比べ18億90百万円(10.2%)の増収、営業利益は8億99百万円と前年同期と比べ4億円(80.5%)の増益となりました。セグメント毎の売上高及び営業利益は以下のとおりであります。

(自動車販売関連事業)

当セグメントにおいては、国産車新車販売は、N-BOXが引き続き好調であり、国産車新車販売台数は前年同期比12.9%増の3,711台となりました。また、輸入車においては、ボルシェセンター鈴鹿閉店の影響は少なく、他ブランドにおける拡販施策等の改善が進んだことで、輸入車販売台数は前年同期比19.0%増の470台となりました。これらの結果、新車販売台数は前年同期比13.6%増の4,181台となりました。中古車販売においては、引き続きグループ間連携の強化を図り、中古車商品在庫の早期入替等を図った結果、中古車販売台数は前年同期比0.5%増の7,359台に留まりましたが、中古車粗利益が大幅に改善されました。

また、販売費及び一般管理費については、人件費、設備費、一般管理費等は増加傾向ではありますが、将来に向けた投資と考えております。これらの結果、売上高は197億99百万円と前年同期と比べ18億40百万円(10.2%)の増収、セグメント利益(営業利益)は9億71百万円と前年同期と比べ3億85百万円(65.8%)の増益となりました。

(自動車リサイクル事業)

当セグメントにおいては、鉄・アルミ等の資源価格相場全般は緩やかながら回復傾向が継続しております。また、リユースパーツ販売を強化することで安定した売上を確保することが可能となりました。これにより生産台数(再資源化処理)は前年同期比3.5%増の6,338台となりました。また、使用済自動車の入庫は、第2四半期連結会計期間における台風等の自然災害の影響を受けたため前年同期比3.8%減の6,038台となりましたが、使用済自動車在庫の調整により、生産台数に影響はありませんでした。これらの結果、売上高は5億82百万円と前年同期と比べ49百万円(9.3%)の増収となり、セグメント利益(営業利益)は1億9百万円と前年同期と比べ13百万円(13.7%)の増益となりました。

② 経常利益

営業外損益は、借入金等の資金効率が図られた結果、支払利息等は減少いたしました。これらの結果、経常利益は、営業利益の増加により8億96百万円と前年同期と比べ4億9百万円(83.9%)の増益となりました。

③ 親会社株主に帰属する四半期純利益

税金等調整前四半期純利益は8億96百万円と前年同期と比べて4億9百万円(83.9%)の増益となり、法人税等(法人税等調整額を含む)は2億95百万円となりました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益は5億81百万円と前年同期と比べ2億70百万円(87.2%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より3億82百万円減少し、151億32百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少3億97百万円、建物及び構築物の減少1億37百万円、商品及び製品の増加1億72百万円等によるものであります。

② 負債の部

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より8億30百万円減少し、98億58百万円となりました。これは主に、買掛金の減少4億5百万円、前受金の減少2億45百万円等によるものであります。

③ 純資産の部

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より4億48百万円増加し、52億73百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上5億81百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、平成30年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 追加情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	901,070	503,753
受取手形及び売掛金	360,057	344,782
商品及び製品	2,815,904	2,988,519
仕掛品	1,573	2,925
原材料及び貯蔵品	40,695	29,633
その他	193,955	185,755
貸倒引当金	△362	△268
流動資産合計	4,312,895	4,055,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,231,016	3,093,888
土地	5,823,949	5,823,949
その他(純額)	977,690	1,048,449
有形固定資産合計	10,032,656	9,966,287
無形固定資産	54,898	60,120
投資その他の資産	1,113,985	1,050,844
固定資産合計	11,201,539	11,077,252
資産合計	15,514,434	15,132,356

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,832,318	1,426,633
短期借入金	4,224,485	4,536,882
未払法人税等	231,752	137,210
前受金	1,118,431	873,422
賞与引当金	149,153	77,530
その他	533,314	503,016
流動負債合計	8,089,456	7,554,694
固定負債		
長期借入金	1,594,821	1,251,945
役員退職慰労引当金	276,341	286,569
退職給付に係る負債	672,115	703,961
その他	56,344	61,277
固定負債合計	2,599,622	2,303,753
負債合計	10,689,078	9,858,448
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	2,342,255	2,819,048
自己株式	△107	△107
株主資本合計	4,652,218	5,129,011
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,694	△8,327
退職給付に係る調整累計額	△11,751	△10,661
その他の包括利益累計額合計	22,942	△18,989
非支配株主持分	150,195	163,885
純資産合計	4,825,356	5,273,907
負債純資産合計	15,514,434	15,132,356

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	18,492,230	20,382,729
売上原価	15,137,842	16,469,714
売上総利益	3,354,388	3,913,014
販売費及び一般管理費	2,856,111	3,013,835
営業利益	498,276	899,179
営業外収益		
受取配当金	6,169	6,874
受取賃貸料	8,550	8,773
受取保険金	49,456	16,945
その他	8,038	7,347
営業外収益合計	72,214	39,940
営業外費用		
支払利息	35,411	28,204
支払手数料	9,021	7,867
和解金	35,000	—
その他	3,498	6,280
営業外費用合計	82,931	42,351
経常利益	487,559	896,768
税金等調整前四半期純利益	487,559	896,768
法人税、住民税及び事業税	132,967	279,683
法人税等調整額	27,697	16,133
法人税等合計	160,664	295,817
四半期純利益	326,895	600,950
非支配株主に帰属する四半期純利益	16,040	19,160
親会社株主に帰属する四半期純利益	310,854	581,789

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	326,895	600,950
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,309	△43,021
退職給付に係る調整額	3,302	1,308
その他の包括利益合計	30,611	△41,712
四半期包括利益	357,507	559,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	341,278	539,857
非支配株主に係る四半期包括利益	16,228	19,380

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,959,085	533,144	18,492,230	—	18,492,230
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,977	22,688	32,666	△32,666	—
計	17,969,063	555,833	18,524,897	△32,666	18,492,230
セグメント利益	585,728	96,280	682,008	△183,731	498,276

(注) 1. セグメント利益の調整額△183,731千円には、セグメント間取引消去△92千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△183,824千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,799,823	582,906	20,382,729	—	20,382,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,805	24,255	38,060	△38,060	—
計	19,813,628	607,161	20,420,789	△38,060	20,382,729
セグメント利益	971,262	109,481	1,080,743	△181,564	899,179

(注) 1. セグメント利益の調整額△181,564千円には、セグメント間取引消去△176千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,387千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。